

埼玉労山

埼玉県勤労者山岳連盟機関紙 発行:武笠真次
 〒336-0011さいたま市浦和区高砂 4-1-5 ふじビル2階 編集:澤藤俊昭
<http://www.justmystage.com/home/tozans/index.html>
<http://www.justmystage.com/home/tozan/>

目次

- 1 p) 東日本大震災 支援活動報告から!
- 2 p) 支援活動報告②、クリーンハイク
- 3 p) 春山の山行記録から!
大宮労山 一剣岳小窓尾根
- 4 p) 加盟団体の紹介、女性委員会報告!
- 5 p) 登山学校、救助隊報告、他!
- 6 p) 理事会報告、身近な春の草花、他!



ガクアジサイ

「東日本大震災」の支援・ボランティア活動報告!

インフォメーション
<http://www.jwaf.jp/>

未曾有の東日本大震災からもう3カ月!
被災地ではまだまだ瓦礫の処理すら出来ず当時そのままの状況の地も多く、全国連盟「ナマステ情報」でも報告されている通り、全国の各県連から被災地の仲間への支援活動が積極的に取り組まれていまして。こうした活動に協力すべく、埼玉連としてもこれまで何回か被災地の石巻でのボランティアに参加していましたが、6月に支援活動に参加した仲間の皆さんからの報告を紹介いたします。

尚、今後も長期にわたる支援活動が予定されています。引き続き義援募金や物資支援、さらには現地へのボランティア活動への参加等、一層のご協力をお願いいたします。

◆支援活動報告
詳しくは「ナマステ」情報、日本勤労者山岳連盟HP

支援活動に参加して①
 期日 6月4~5日
 支援:宮城県石巻市渡波(ワタノ)
 参加者:埼玉労山(8)

- 金井(所沢) 長谷川、谷脇(大宮) 井上、湯見、佐藤、嶋田、加納(新座山の会)
- 千葉労山(8) 群馬労山(10)
- 宮城労山(3) 兵庫労山(2)
- 合計31名

スコップ、長靴、ヘルメット、マスク、タオル、テント、シュラフ、グラブ、シート、着替え、食糧等を車に積み込む。テント泊の山行以上の装備である。埼玉の8名は3日の夜7時頃、それぞれ東京を出発し東北自動車道で現地に向かう。途中、福島あたりから道路の凹凸が気になり、23時半ごろトイレと自販機しかない泉(仙台南の先)で合流し仮眠する。

4時半に起床し簡単な朝食を済ませ、6時頃出発。東北道から三陸道経由で、石巻に向かうが至る所に段差注意の看板が出ている。地震により地盤が凹凸しているのを応急修理で通行できるようにしたのである。三陸道の終点近くなると渋滞が始まる。他県ナンバーの車が多い。石巻市内に入ると、とんでもない光景が目撃されていく。崩壊してしまった家々、土台しか残っていない平らな広い土地。潰されて道路わきに打ち捨てられた多くの車。墓地のど真ん中に運ばれている車もある。磯とへドロの混じった匂いが鼻に付く。営業している商店はほとんど



倒壊したままの家屋

どない。やっっているのはコンビニとガソリンスタンドくらいである。渡波地区に入ると地盤が40~50cmも下がった為、雨で床下まで水に浸かった家が多く見られた。8時ころ田園地帯の千刈田に入る。畑や田んぼの中には津波で流されてきた車が多数残っている。こうした車がなければ、ここまで津波が押し寄せたとは思えない風景である。しかし、ここにも胸位まで津波が来たという。現場である亀山さん宅のビニールハウス(20m×50位)には1~2cm程の塩と硫化水素を含むへドロの層が積もっている。これを取り除くのが我々の作業である。

長靴・帽子・マスク・軍手で身繕いし作業に入る。山行と一緒に50分作業し10分休憩。鋤(スコップ)でへドロを削り、スコップで捌き、ネコ(一輪車)に載せて外に捨てる。ハウスの中は蒸し暑い。夏になったら堪らないだろう。多くの人は慣れない作業なので無駄な力が入り、額からは汗が流れ、足腰が痛くなる。

11時半、早めの昼食になる。地元のお年寄りが冷たい水を持

ってきてくれた。
 12時半から午後のスタート。黙々と作業する人、和気藹藹と話しながら作業する人。それでも作業のスピードは一向に衰えない。登山で鍛えたパワーは流石である。

朝が早かったので今日は15時で作業終了。その後、石巻市内の被害状況を視察の為、市内を一望できる日和山公園に登る。ここから港の方を見ると、海岸まで真っ平らである。あの日の津波が来る前までは多くの建物があり海岸は見えなかったろう。そんな平らな中にお寺の建物と幾本かの松が残っているのが印象的だった。

この公園には、多くの人が集まっている。多くはボランティアの人達のようにだ。外国人の人達も何人か見受けられた。有りがたく嬉しいことである。

宿泊地に行く前に道の駅(上品の郷(ウツクノキ)の温泉で汗を流し石巻の特産品の海産物を買う。美味しければ埼玉連で販売の仲介をしてもいいかもしれない。

夕食をとった。
 寝るのは隣室の体育館でマットを敷きシュラフで寝た。疲れとアルコールでよく眠れた。
 翌朝は5時起床。千葉連の女性たちが味噌汁、鮭、納豆など朝食を作ってくれた。
 7時40分出発。8時から作業開始。この日はもう一つのビニールハウスのへドロ除去である。昨日の経験が役に立ち、皆手際や力の入れ具合も良くなって効率よく作業が進む。11時半には終了した。

石巻の印象は既に3カ月が経っているのに復興が進んでいるとはとても思えない。やっとな瓦礫の撤去が終わわり、各道路が通行可能になった程度だ。多くの建物は放置されたままである。何時になったら復興の槌音が聞こえてくるのだろうか?
 国民は民度が高いと世界中から絶賛されているのに、政治があまりにもお粗末である。
 そのしわ寄せが国民、特に被災した人たちにきているが如何にもやりきれない思いで被災地を後にした。

新座山の会 加納 隆夫



ハウス内での泥を取り除く

支援活動に参加して ②



泥除去も次第に慣れて

6月4、5日、埼玉県連8人で支援活動に行ってきました。現地で千葉県連、群馬県連、兵庫県連からの応援部隊、地元宮城県連とも合流し、総勢31人で、石巻市渡波地区のビニールハウスでの作業をしました。ハウス内はキュウリの収穫直前だったとの事でしたが、キュウリは跡形もなく、流れ込んだ津波でヘドロと稲藁や軽いゴミ類が堆積していました。作業内容は破れたビニールの撤去と耕作地表面を覆ってしまつたゴミとヘドロ部分を削り取るというもので、総勢で1日半かかって、2棟のビニールハウスをなんとか終わらせてきました。それでも、この先作物を作るには耕地を水で洗い、新しい土を入れ混ぜたり、石灰を混ぜたり、それでもちゃんと出来るかどうかという。今年には土壌の改良状況が心配なので、水耕栽培設備にして様子を見ることも考え、ビニールハウスの見通しがついたら、露地も同様に整備しなければ使えないとの事。まだまだ、以前の

状態になるまでの道のりは遠いようです。

今回は作業用具(スコップ・レイキ・草刈り鎌・運搬用一輪車等)は有り、仮設トイレが有り、ポリタンクに水も用意され、作業環境条件は良いところだったと思います。宿泊場所も車で20分位のところの公民館を貸し切ってもらつてあり、電気・水道・ガス完備で、調理場も使わせていただけました。風呂もそこから30分位のところの「道の駅・上品の郷」で入ることができました。

今回、現地での作業コーディネートと夜の懇親会で現地会員岡さんに大変お世話になりました。ありがとうございました。

作業の後、岡さんにアドバイスいただき、津波の爪痕を見ました。絶句。是非、機会があれば自分の目で見ていただきたい。

支援物資は夏物衣料品・靴下・雑巾・食器・巾着袋など物品の他、裁縫道具や編み物セットなどいろいろではないかと思われました。また、物品の支援の他、絵本の読み聞かせのような支援もできそうです。

大宮 労山 谷脇京子



作業を終えて



千葉の仲間とともに



高台から望む市街地



今尚放置されたままの車



車窓から

南部ブロック

県民クリーンハイク 報告

奥武蔵・日和田山く巾着田

期日 5月29日(日) 雨
参加者 三郷山の会(12名)わらび山の会(5名)
あすなる山岳会(2名) 合計19名

梅雨入りとともに台風2号も接近している中、雨天決行です。三郷駅7時25分発。三郷山の会は12名です。止まぬ雨を案じながら秋津駅で乗り継ぎ西武秩父線の高麗駅に向かいます。電車が奥武蔵に近づくとつれ、雨でもそれ以上に山に駆り立てられる思いが増して来ます。9時頃高麗駅下車。南部ブロックの皆さんと合流し、紹介とコース等の説明後、色とりどりの雨具に身を包み、手にはトング・ゴミ袋と傘を持ち20名弱列になってスタートです。のどかな集落から日和田山を目ざし、雨の中ひたすら足下付近を追いながらゴミ・吸殻・空きカンなどを拾いました。



ところが山道を登るもゴミは殆どありません。木立の中、しばらくすると道伝いに滝のごとくあふれ流れ出した水の光景に思わず息をのんでしまいます。鳥居をくぐると男坂と女坂に別れ、男坂を登り神社で合流、束の間の一服。雨具を着ている為かむしろ暑く、汗でも濡れています。身体が冷えない内に忙しくまた登り始め、10時頃山頂に到着しました。雨の頂上は濃霧で展望はありませんが、ゴミがないことに安堵して、全員が揃ったところで同じコースを下山です。

途中、神社で雨宿りする他の地図読み山行グループと笑顔で挨拶を交わしながら、下りは知らず知らずのうち加速つくままに早く、山麓の緑豊かなふれあいの森の野鳥のさわやかな声が雨降る中ですが、どこまでも私達を元気にしてくれます。登山口から、田園風景が広がりが並々流れる巾着田へ。時の流れも緩やかにとても風情があります。その敷地内に水車があり、そして屋根のある休憩場所です。豚汁も用意されてあって青味



*ゴミ回収結果

- ①燃えるゴミ 5袋(5kg)
②燃えないゴミ 1袋(2kg)

合計 7kg

三郷山の会 大園 緑(記)

山行記録
北ア・小窓尾根から剣岳へ
疲労と緊張でやっと4日目に登頂!

山行実施日…5月3日～8日
 参加者…C.L.徳重、他 6名
 (1日目) 5月4日

登山口・馬場島のゲートが開放されていない為、6km手前からの歩きとなる。天気は4日目より崩れるとの予報。テント非常食合わせて4日分の食料・ロープ・ガチャガチャとメット、わかん・冬山装備と、これで登れるのと思う程に荷物が肩に食い込む。いつものようにリーダーがテントを持つ。感謝以外に何も無い。

馬場島から早月尾根方面と別れ、白萩川に沿って進む。今年のは雪が多く渡渉は無く小窓尾根取り付きまで行けた。

雷岩で休憩中、先行の若いカップル2人が小窓尾根へ取り付き、50m位登った所で上から大小雪のブロックが多数落ちてきた。若いカップルに何個か当たり、治まりかけた所で走って



剣岳山頂 (撮影 岩崎)

下降し、ケガも無く難を逃れた様だ。

我々は経験豊富なリーダーの元、登りにくい木が茂っている尾根っぽい所を選んでルートを刻み進む。急な雪壁で息つく暇がない。寝不足の体に疲れ限界で、本日テント場1600m付近の平らな部分で1日の工程終わり。ビールで乾杯し宴会後、20時寝に入る。

(2日目) 5月5日

リーダーを中心に3時起床。本日が核心部だとリーダー。明るくなった5時45分出発。スタートは広めの尾根で青空の下気持ち良い。ニードルが目の前に見え、本当に登れるのかと思う位にそびえ立っている。

ニードルでリーダーがルート探し! 結局、右側より懸垂下降しトラバース後、又雪壁を懸垂下降する。尾根と雪の間に大きなクラックあり緊張する。

その後ドームを登るのに急な岩と雪の壁、緊張の連続で、残りロープと頼りない草木にしがみついで登る。雷岩で会った地元の人がここが核心部だと言っていた。

ドームで、これから登るマツチ箱や登ったニードルが鋭く見える。前方に3人のパーティーが岩峰に苦戦しているが見えた。

その取り付きまで行くが、リーダーが時間をみて少し戻りドーム肩2400m付近に幕営するとの指示。リーダー等は明日の為に岩峰にロープをフィックスする。又宴会後寝に入る。



(3日目) 5月6日

朝2時頃、誰かが足がつると騒ぎサプリメント飲み飲めないで3時かと思いい目が覚め、それから眠れなく3時起床。快晴5時40分頃出発

昨日ロープフィックスした所を登り狭い尾根に着く。登れそうもないマツチ箱がそびえている。両サイドがスパッと落ちていて高度感抜群。リーダーのお助けロープに捕まりながら慎重に登る。ここが核心部? 核心部だらけで緊張の連続。登り降りの連続で雪壁も落ちたら終わりの急な斜面。三の窓への懸垂。50m降り50mのトラバース。ロープでビレー取る。

三の窓が幕営場所であったが明日の天気が午後より崩れるとの情報で14時30分だが本峰へ向かい新たな幕営地へ向かう。稜線への長い雪壁、疲労で足が重い。稜線の所に2900m付近幕営地見つけ風よけブロック積む。宴会後寝に入る。

(4日目) 5月7日

本日午後より天気崩れるとの情報でリーダー1時50分起床。ウー眠い5時30分出発、本峰への登りは急な雪壁で慎重に登る。2時間位で本峰へ到着。

4日目でやっと山頂。曇り空の山頂からは360°の展望。各自写真撮り、すぐに早月尾根への下りに入る。急な雪壁にはフィックスロープ有り慎重に降る。早月尾根で1羽の雷鳥に会う。感激し写真ばちばち。早月尾根も雪壁で、雪の割れ目が多く気が抜けない。4日目で疲労もピーク。早月尾根からは4日間登った小窓尾根全体が見えた。

なんだかんだで馬場島。ゲートが開いていることを聞き、ゲートの所にある車を回収すべく帰る人に交渉する。もうみんな必死。親切な人を見つけ回収する。日帰り温泉で4日分の汗を流し、その後リーダー行きつけの居酒屋で宴会する。リーダー、他の皆さんお疲れ様でした。

羽竜 智 記



池の谷ガリーを見る

【コースタイム】
 5月4日…ゲート(6:25) || 馬場島(8:30) || 雷岩取付(11:00) || P1600mテント場(14:40)
 5月5日…テント場(5:35) ||

ニードル(11:15) || ドーム || P2400mテント場(14:00)
 5月6日…テント場(5:30) || マツチ箱 || P2650m || 小窓ノ頭 || 小窓王 || 三ノ窓下降点(12:20) || 三ノ窓(14:30) || 池ノ谷ガリー || 乗越(15:40) || 長次郎頭手前 P2900mテント場(15:30)
 5月7日…テント場(5:30) || 長次郎ノ頭 || 剣岳(6:40~5:00) || 早月小屋(11:00) || 馬場島(15:40~16:30)

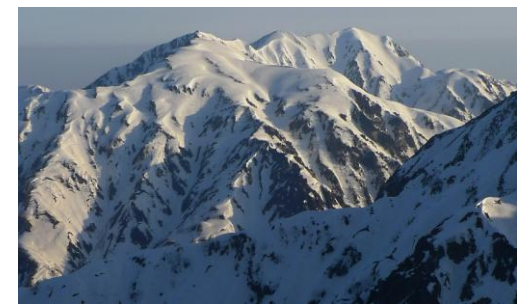


急峻な雪壁の池の谷ガリーを登る

【リーダー雑感】

好天に恵まれ、無事に剣岳小窓尾根を完登出来た事をまずは喜ぶたい。

小窓尾根が予想以上に難しく、体力と技術、そして緊張をふる活用させられた山行となりました。問題点もいろいろありましたが、これから話し合い、磨きあって解決して行きましょう。それにしても雪の剣岳は素晴らしかった。感動物です。(徳)



毛勝三山



朝日に映える剣尾根の頭と早月尾根



雪稜を登る

加盟団体の紹介

南部ブロック あすなる山岳会

あすなる山岳会はキュボラのある町・川口に今から43年前に誕生しました。最初は「川口労山」として川口市内で働く職場山岳会にも呼びかけて発足、大宮や戸田・椽や所沢・朝霞等に次いで埼玉労働山に加盟したと聞いています。

最初は沢登りや雪山が中心で、例会も小さな喫茶店でしたが、名前を「あすなる」と改名し、登山趣意書にもあるように、山もハイキングから冬山まで総合的な登山をめざして、会員拡大しながら活動して来ました。会としての目標を「北アルプスの冬期全山縦走」を掲げ、まず奥秩父から南アルプス、そして北アルプスへと夏冬合宿を計画し実施。しかし、冬の北ア全山縦走だけは挫折しましたが、この他には東北や越後の山々をフィールドに、縦走や沢や尾根、そして岩登りでは戸田ばっけ、



秩父・城峰山忘年山行にて

あすなる・浦和くまざさ山岳会合同で岩登り同人クラブ「チャダス」を作り、夢中で山に向かっていたような気がします。

年をとると、過ぎ去った過去の懐かしい時代に回帰すると言いますが、創立40年を過ぎた今、私達は確かに山岳会としては小さな会なれど、こうした元会員や地域の中で会に関わった一般の方々を大切にしながらも、もっと多くの方に自然や山の素晴らしさ、そして楽しさを知って貰う為の活動を続けて行きたいと思っています。

今は会員それぞれに休みも違う事から、最近の会山行は平日山行が多く、また個人山行も仲間うちで楽しむだけの同人的な活動になりがちですが、今後は



10.5月の八海山で

会員拡大にむけた取り組みも考え、少しでも会員を増やす努力をして行きたいと思っています。

澤藤 記

*会員の中に、秋田由利本庄市に夫婦で住む会員 道川さん(旧姓 小川勇子)がいます。鳥海山等の計画の際に、一報していただければ案内いたしますとの事です。



10.10月 二岐山
あすなる坂で
醜くアップ禁止
二岐温泉で



原発事故後の
三春～南会津山行
11.4月



力のどこに弱点があり、どうすればその弱点をカバー出来るのか、克服出来るのか、怪我や加齢による体力の変化、衰えを科学的に測定、認識しそれにどのように対処していくか、また登山活動にどう活かすかという事です。

今回で第3回目の体力測定が5月21日(土)に労山事務所で行われ、全体で45名の参加者、埼玉では7名の参加でした。

3回目を迎えた今年、石田先生を始めスタッフの方々のお力で、今までの成果が評価され、念願の文部科学省からの助成が3年間得られる事になりました。そのため、今までよりレベルアップしたデータを得る事ができます。昨年まで諦めていた血液検査も出来る事になりました。これで健康状態がより正確に把握できると思います。これは皆さんの食生活やトレーニングにさらに役立てられます。とのお手紙を戴きありがたく思いました。こんなに先生方がご足労して下さるので、5年間は継続しなければと思いません。

昨年との大きな違いは採血があり午前より始まり、それとバランスで片足立ち5分間(殆どの方が2分間は出来る)の変更になりました。

他の測定は今までと同様でした。(筋力、敏捷性、柔軟性、持久力、皮下脂肪厚、体脂肪率、血圧、心拍数、精密度測定)

目的は超高年になるまで楽しく安全に登山を続けるには、自分の体力をよく知り、自分の体

全国女性委員会 主催
「第三回女性登山者のための継続した体力管理のための体力測定」に参加して
 新座山の会 土岐田八千代

短パン姿等の顔なじみの方や、今回初めての方で活気にあふれていました。

特に片足立ち5分間では7/8割の方が出来て、スタッフの方も驚いていました、それと6分間歩行での距離測定では、凄いいでの歩行で、パワフルに満ち溢れていました。皆さんのどの項目も素晴らしいパワーです。

測定報告会は6月4日(土)にあり、当日は半数の参加者でした。

結果数値を基にしながら石田先生が労山女性の方と一般女性の方との違いを、表で現してくださり、いろいろな面でも労山女性を上回っている事がすぐに分かりました。先生からこれからの課題として

- ①加齢とともに低下するとされる筋力が、一般女性よりも高いものの、登山だけでは筋量の低下はカバーできない。
- ②いつでも山に登るためには筋トレが不可欠で、そのためには筋肉の材料になる食材には注意が必要。
- ③登山を通して下肢筋力などが強化されることは生涯にわたる女性のQOLを高めるためにも大変有効。
- ④筋トレには毎日の積み重ねが山筋ゴートー体操などが効果。

私達も先生の指導の基で、山筋ゴートー体操のポイントを確認し、とても良い汗をかきました。日々のトレーニングがいかに大切か、改めて痛感しました。

来年4回目を目標に、日頃の努力をしなければと反省せられました。



活気あふれる体力測定



五月二十二日、第十六期登山学校開校式が北浦和カルタスホールで行われました。

校長の武笠理事長挨拶あと、事務局より昨年度の講座の様子を元に、内容・注意事項等の説明をスライド等交えて行われました。ガイダンスに参加された方は全員入校され、今期も昨年に引き続きHPからの一般参加の方も多数入校されました。

今期は二十一名の年間受講者とともに単科受講者、運営委員も十二名体制でスタートをきりました。今年の特徴は受講者の平均年齢が四十五才と若く、運営委員も少し若さをおすそわけしていただき、張り切っています。

開校式の後、場所を移動しての懇親会にも多数の方が参加され十六期に向け親交を更に深めることが出来ました。

第十六期登山学校開校式



武笠校長挨拶



「計画から下山まで」
机上：六月一日(土)
実技：六月一二日(日)
栃木・太平洋山

***第一回講座**

- 校長 武笠真次 (わらび)
- 運営委員
- 事務局 駒崎弘安 (わらび)
- 事務局 小松勝浩 (三郷)
- 伊藤正勝 (わらび)
- 軽部 章 (浦和)
- 高橋五男 (くまざさ)
- 水谷克明 (浦和)
- 徳重博文 (大宮)
- 尾手利雪 (三郷)
- 八木原健一 (三郷)
- 井上達夫 (浦和)
- 坂元律子 (浦和)

今年も内容の充実した登山学校をめざし、さらに検討を重ねて体制の強化を計って行きたいと思えます。

単科受講も毎回若干名HPにて募集いたします。ご希望の方は早めにお申し込み下さい。

(事務局 小松勝浩)

【加盟団体の夏山計画情報】

- * 荻歩歩富士見山の会**
 - 7/3 南ア前衛・入笠山
 - 7/ 9~10 尾瀬・至仏山
 - 7/22~25 東北・朝日連峰
 - 7/22~25 北ア・白馬岳～鱧ヶ岳
 - 8/27 北ア・焼岳
- * 秩父アルペン**
 - 7/25~26 南ア前衛・鳳凰三山
 - 7/16~17 奥秩父・金峰山
 - 8/ 5~ 7 中ア・木曾駒～空木岳
- * 飯能労山**
 - 7/ 9~10 上越・金城山と葉留日野山荘
 - 7/30~8/1 尾瀬・燧ヶ岳
 - 7/30~31 堂平キャンプとハイキング
 - 8/ 1 富士山
 - 8/27~29 頸城・高妻山
- * ハイジアルペン**
 - 7/11 両神山
 - 8/ 6~8 北ア・槍ヶ岳
- * 北本山の会**
 - 6/23~27 北海道・利尻～礼文島
 - 7/23~25 北ア・西穂～奥穂高岳
 - 7/30~8/1 東北・朝日岳
 - 8/ 5~8 北ア・白馬岳～祖母谷
 - 8/23~28 北ア・雲の平
- * 所沢ハイク**
 - 7/21~24 北ア・白馬岳
 - 8/ 5~8 北ア・鹿島槍ヶ岳
 - 8/19~21 南八ヶ岳・赤岳
 - 8/27~28 日和田巾着田キャンプ
- * 新座山の会**
 - 7/ 2 奥秩父・乾徳山
 - 7/24 群馬・岩櫃山
 - 8/21 上越・谷川岳
 - 9/10~11 北ア・唐松岳
- * 熊谷トレッキング**
 - 6/11~12 南八ヶ岳・赤岳
 - 6/12 北ア・乗鞍岳山スキー
 - 6/22 鹿沢・湯の丸山 (*左へ続く)

埼玉労山救助隊

第2回 役員会報告

日時 2011年5月30日(月) 19:30~21:30
場所 浦和コミュニティーセンター「パルコ」 9階
出席 7名

【議題】

1、沢技術学習会、沢搬出訓練について

○沢技術学習会(机上) 7月11日(月)「パルコ」10階 7号室 19:00~21:15
小滝の連続する場所を搬送訓練「斜張り」の学習・安全の確認(詳細は当日)
*タイインノット、ビレイ、フリクションノット、ロープとロープの結び等各自で再確認をする。

○沢搬出訓練(実技) 7月24日(日) AM 8:00~ 行動(前夜発可)

場所・大洞川流域、市ノ沢・秩父湖(雲取林道)大洞ダムAM7:00集合
訓練場所・市ノ沢、小滝連続場所(机上学習で確認)
装 備・個人装備、沢でのセルフレスキュー一式
共同装備、救助隊で用意します。

*参加、不参加は7月15日まで各ブロック長に連絡して下さい。

2、総会に向けて

2011年4月4日から2011年6月27日変更(施設の使用が不可能の為)
総会案内は後ほど連絡します。

3、被災地支援について

「埼玉労山救助隊」は関東ブロックの支援活動方針に準ずる
(関東ブロック・東日本大震災支援会議報告)対策副本部長・広木国昭 氏 記

4、その他

*6月13日の役員会は中止となりました。
*被災地ボランティア活動お疲れ様です。この先も支援活動を続けましょう。

事務局長 若木 由和

◎機関紙委員会より!

ユニークな山行や皆さんに是非紹介したい記録等、原稿を募集中! また、この夏山計画や報告もお待ちしています。出来たら写真添付でメールで送付を!

【加盟団体の夏山計画情報 ②】

- 6/25~26 越後・駒ヶ岳
- 7/ 5~18 インドヒマラヤトレッキング
- 7/25~30 北海道・幌尻岳～ニペソツ山

理事会報告

第十五回理事会が五月二十五日(水)県連事務所で十一名の出席で行われました。

*全国連盟活動

・5/14~15 宮城県連会員宅 畑へドロ除去作業 関ブロ

・50名参加(埼玉県連4人参加)

・5/21 関東ブロック支援会議

*県連全体活動

【事務局】北本山の会事務局変更、関ブロ役員交流集会

9/24~25 (主管:群馬県連)

【財政】前期会費納入状況:半分の会が納入済み

・慶弔費予算3万円に変更

【機関紙】171号編集集中、クリーンハイク報告を印刷6/15、

【HP】記事掲載依頼が全然ない。情報が無くHPの新鮮さが無い。各委員が積極的に開いて記事掲載依頼を。

【女性】5/14 関ブロ担当者会議(14名)震災支援について

・支援Tシャツ作成中。販売し売上金支援を検討。

・9/23~25 支援活動計画中/

・5/21 体力測定 40名参加(埼玉7名参加)

【ハイキング】5/8 山急山交流HC実施、HPに記事を投稿。

【自然保護】クリーンハイク実施報告を! 台風が心配!

【救助隊】5/30 役員会、6/27

・救助隊総会(パルノ)、7/11

・沢搬出机上、7/24 実技

【登山学校】5/22 開校式

・受講者21名、運営委員12名、

総勢33名で開催。平均年齢45

歳、21名中5名がリーダー。連続参加者が増え人気上昇。

【沢登ネットワーク】

・総会で今年活動(年々回)を報告予定

【ブロック活動】

西部:5/9 ブロック会議

南部:5/19、6/23 ブロック会議、

(日和田)

中部:5/19 ブロック会議

(正丸~伊豆ガ岳集中)

北部:(破風山集中2コース)

議題

① 東北地方太平洋沖地震 支援体制について!

・関東ブロックの支援活動 毎月第一・第三土日曜日に。

・参加者を事前報告。希望申告に基づき手当を検討。毎回100

人位の人が必要。

・女性でも仕事は十分可能。

・支援について総会で提案。

・物産品(わかめ・酒等) 販売

協力も提案し、総会でチラシを配布しては?

② 県連総会について

期日 6月19日(日)

会場 高鼻コミセン大会議室)

*役割確認 理事 AM 8:30 集合 受付:AM9:00~(佐藤・嶋田)

参加者名簿の作成、横断幕の手配(小松)

開会:AM9:30~16:00 司会||尾手 懇親会:隣の蕎麦屋(矢崎)

参加人数報告、懇親会手配

議長(中・北) 書記(南・西)

議案印刷:6/18 PM1:00~

④ 次期役員体制について

退任:木阪・軽部

推薦:松本(所ハイ)

事務局長と事務局員体制?

⑥ その他

*クリーンハイク 確認

・台風の接近:西部降雨率70%で中止、他も南部を除き雨天中止)

*各会三役名簿(別紙)

*次回理事会6月29日(水)

以上 天野 記

【編集後記】

梅雨の季節を迎えて、紫陽花の花も蕾を一段と大きく、緑色から青紫色へ色の濃さを増しているようでもあります。未曾有の東日本大震災からちょうど3カ月になります。被災地ではまだまだ多くの方達が避難生活を余儀なくされ、復興へのきざしはまだ見えていない中で、昨年この頃に後を引き継いだ菅政権も東日本大震災と東電福島第一原発事故への対応も含めて内閣不信任騒動の中、退陣を示唆した事から、今また菅首相退陣と大連立の議論で、国会は民主党の権力闘争や野党等の思惑から会期延長も含め波乱含みです。被災地ではこうした国民感情を抜きにした飽くなき抗争に諦めと政治不信を一層増しているとわれ、こうした状況に私達もあきれてしまいます。まず、何よりも被災地の住民の生活と暮らしを最優先に、災害の復興と原発処理に専念すべきかと思いますが…。梅雨も明ければ、いよいよ夏山シーズン到来! 稜線散歩楽しい夏山を満喫して欲しいと思います。(澤)

身近な春の草花

—その3—

梅雨入りし紫陽花が綺麗な季節ですが、春に私たちの身近な野山に咲く可憐な花々の中から、先月号に続いていくつかユニークな花を紹介します。

オオイヌフグリ

ゴマノハグサ科の仲間ヨーロッパからの帰化植物でもととの在来種(イヌフグリ)に比べて花や実が大きく、オオイヌフグリと呼ばれているようです。この花の実がイヌの糞丸(フグリ)に似ている事から名前がつけられたと言われているからユニークです。

花や実は可愛らしく、花の少ない冬の初めから5月頃にスカイブルーの青い星をまき散らしたように日だまりに群がって咲く様は見事です。

また受粉のしくみも面白く、よく虫が止まって飛び去る時にオシベやメシベに触れて花はプルプルと震え、もっと大きな虫が止まると今度は重みで花は下向きになり、虫が落ちまいと2本のオシベを抱えるように仕組んだり、夕方の花を開く際には左右からオシベをはさみ、離れていた2本のオシベは内側に曲げられ中央のメシベの先に受粉するといった2段階の巧みな術を持っています。他にタチイヌフグリがあります。

カラスノエンドウ、カスマグサ、スズメノエンドウ

マメ科の近縁種で、日当たりの良い草地や道端でよく見かける花です。

*カラスノエンドウとスズメノエンドウ (写真 左上、左下)

カラスノエンドウはピンクや赤紫色の1センチ程の可愛い花を1個つけ、群がって咲くと綺麗です。

豆のサヤは長さ約4センチ、種子は10個前後です。

これに比較して同じ草地を捜すと同じ仲間ですと小さなスズメノエンドウがあります。花は3~7個でわずか3ミリ程度、その色も淡い紫色をしています。豆のサヤも8ミリ、種子も普通は2個です。

*カスマグサ (写真 右)

前記の二つの中間がカスマグサです。

つまりカラスとスズメの間という事です。

花は淡赤紫色で1~2個、花の大きさも約5ミリ、豆のサヤも約1センチです。

*今頃の季節は真っ黒に熟したサヤが草地で良く見られます。探して比較して見て下さい。

*他にもカラスやスズメの付く野草、また動物の名前が付く野草も数多くあります。

